



令和3年度学校だより

12月23日

五福校 ごふくこう

No112

文責 本田

子どもたちの企画運営！GOFUKU クリーンプロジェクト ご協力いただいた保護者、地域の皆様お世話になりました。

先日、6年生が五福の町のために何ができるかを考え、自分たちで見つけた町の名所を巡りながら町をきれいにする活動を行いました。町の幸福論や景観についての学習でお世話になった都市デザイン課の方も一緒に巡られました。まさに学校教育目標である「自ら考え主体的に行動できる子ども」を具現化する活動となりました。たくさんの保護者の皆様にもサポートいただき大変お世話になりました。実際にゴミ拾いをやってみると普段はきれいに見える町にもたくさんのゴミがあることがわかりました。地域のお店の方にも温かい言葉をかけていただきました。教師から押し付けられたのではなく、自分たちでやりたいと言って始めた活動です。活動では、集めたゴミの種類によってビンゴを達成したり、お店には自分たちで作った消しゴムハンコを押すことでスタンプラリーをしたり、拾ったゴミの量を競ったり楽しい仕掛けを自分たちで工夫しています。小学校を卒業するときにはみんなが五福の町を大好きになり、自分たちは何をできるかを考え、楽しみながらできることを考え行動できるようにしてほしいと思っています。一人ではできないけどみんなと一緒にならできる。こんな協働的な学びができる子どもたちを育ててまいります。



スタンプラリーをしながら楽しくゴミ拾いをしました。全て子どもたちの企画運営です。

結果発表、表彰も全て自分たちで！

公民館の調理室、和室を使ってのお茶会を実施

ようやく、公民館の調理室を使ってお茶会を実施することができました。公民館の調理室はこれまでも人数制限があって使えなかったのがこのように使用できるのは数年ぶりだそうです。僕も初めて入りました。今回は調理室と和室もつないで使わせていただきました。このように誰かのためにお茶を入れたり、和菓子をいただく機会は日本の伝統文化を継承していく上でも、豊かな生活を送っていく上でも大切なことだと思います。家庭科は自分のために学ぶ教科でもありますが、周りの人を幸せにするために学ぶ教科だと思います。

手前が公民館の調理室で奥が和室です。

